

# 観 察 記 録 ノ ー ト

## 昆 虫 類

### 飯田市美術博物館敷地内で観察したチョウ類

四方圭一郎

飯田市美術博物館で観察した分布上興味深い昆虫類について、四方 (2004) で報告した。ここでは 2004 年に新たに観察できた種について記録しておく。

ジャコウアゲハ *Byasa alcinous alcinous*

1 ♀, 11. V. 2004 (目撃)

庭に植栽されたツツジの花で吸蜜。2003 年秋に敷地内のウマノスズクサで幼虫を確認しており、それが羽化した可能性が高い。

オオミスジ *Neptis alwina*

1 ex. 3. VI. 2004 (目撃)

飛翔中の個体。

ゴマダラチョウ *Hestina japonica*

1 ex. (越冬幼虫) 23. XI. 2004 (図 1)

2002 年には成虫を目撃している。高さ 3 m 程の自生のエノキの根本で、越冬中の幼虫を確認した。



図 1 ゴマダラチョウ越冬幼虫

### 引用文献

四方圭一郎, 2004, 飯田市美術博物館周辺で確認した昆虫類 (鱗翅目・甲虫目), 伊那谷自然史論集, 5, 96. (しかた けいいちろう/飯田市美術博物館)

### 八ヶ岳のヒラタクチキウマの記録

小林正明

八ヶ岳でヒラタクチキウマ *Alpinanoplophilus longicercus* (Karny, 1931) が記録されたので報告する。この個体は下山良平氏が採集し、静岡県の石川均氏が同定したものである。

4 ♂ (幼体; 終令と思われる), 4. VII. 2004, 長野県茅野市豊平 八ヶ岳唐沢鉱泉上 (標高 1900m), 下山良平氏採集。(図 1)

下山氏によると採集地は唐沢鉱泉からクロユリ平に向かう登山道沿いで、環境は鬱蒼とした亜高山針葉樹林内であったという。森林内に横たわったかなり腐朽が進んでいるコメツガ倒木の裂け目から採集したとのことであった。

従来、亜高山帯はバッタ目昆虫の空白地帯と考えられ、カマドウマ類がわずかに知られているだけであった。近年になって石川氏の調査などによりクチキウマ類が広く分布していることが知られるようになっていく。

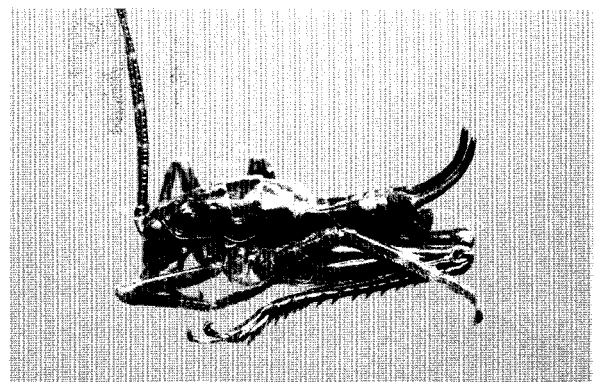


図 1 ヒラタクチキウマ幼体  
(こばやし まさあき/長野県飯田市座光寺 2155)